

ハンケイ

5

m



手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン

FEATURE

ハンケイ5mショップ

京野朱莉さん

京都障害者スポーツ振興会

中村芳道さん

COVER ART OF HANKEI 5m

今号の表紙アート

「アトリエやっほう!!」吉田裕志さんの作品

京都市・伏見区の福祉施設「京都市ふしみ学園」のアート班として2008年に発足した「アトリエやっほう!!」。広々としたアトリエのいたるところに、所属作家による独創的な作品が飾られていて、のびのびと楽しい雰囲気が漂っています。

このアート班の発足当初から創作活動をしている吉田裕志さんは、展覧会にも何度も参加する今注目の作家さんです。色鉛筆で描かれる、人物や動物、風景などの絵は、カラフルでやわらかい作風が魅力です。2023年2月には、京都市・中京区の「はあと・フレンズ・ストア」にて、世界の風景を描いた作品を集めた個展「てくてくわーるどさんば」を開催。その中からニューヨークの地下鉄をテーマにした2作を、今号の表紙に使用しています。

2cmほどの短い色鉛筆を器用に使い、迷いなくググッと色を付けていく吉田さん。その真剣な眼差しからは、絵を描くことが大好きという思いが伝わってきます。福祉施設で一般的な箱折りや袋詰めなどの仕事と比べると、アートはすぐにお金にはなりにくいもの。それでも、ひたむきな創作活動は、見る人の心に響きます。今後、「ハンケイ 5m」ショップでも展覧会を開催予定。吉田さんの色彩豊かで力強い作品をぜひ生で見てください。

アトリエやっほう!! ホームページ
<http://atelieryohoo.com>

ハンケイ 5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

VOL.7

CONTENTS

表2 ハンケイ 5m ショップ
4月～6月イベント開催情報

FEATURE 1

02 京野朱莉さん

多様な価値観を発信する
ハンケイ 5m ショップ

FEATURE 2

06 中村芳道さん

障がい者もスポーツを楽しめる場づくり
京都障害者スポーツ振興会

10 俊朗の映画話

薬剤師 DJ の音楽論

11 ホホホのすすめ

人形つかいパペの話

12 ユニオン・エーのメディア紹介

ハンケイ 5m オフィシャルソーター

13 ハンケイ 5m vol.7 発行にあたり

RECOMMENDED CINEMA

ハンケイ 5m ショップ 4月～6月イベント開催情報

京都・四条烏丸にある、ハンケイ 5m ショップでは、店内にてさまざまなイベントやワークショップを開催しています。最新情報は各種SNSにて発信中！ぜひフォローしてください。



ハンケイ 5m ショップ
Instagram
@hankei_5m_shop



ハンケイ 5m ショップ
公式LINE
オンラインショップ・入荷情報は
こちらをチェック！

ハンケイ 5m ショップ

京都市下京区烏丸通り四条下ル
からま京都ホテル内 1F
(京都市営地下鉄「四条駅」
南出口6番 徒歩1分、
阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分)
OPEN 月・水・金・土 11時～19時
TEL.080-8500-8236



5月

日本絵道 清水流 和の手紙 姫の会
和の手紙展覧会「姫たちの文化彩」
京都烏丸、高槻アトリエ教室展

4月29日(土)～5月29日(月)

※この期間に限り、日曜日もOPEN
日本各地に教室を持つ「日本絵道 清水流 和の手紙 姫の会」。その四条烏丸、高槻教室による展覧会を行います。和の手紙とは、絵と書で心を伝えるもの。掛け軸型の絵手紙など、季節を感じられる作品の数々をお楽しみください！



ワークショップ「姫たちのおあそび」&抹茶たて体験 内容:箸袋、しおりなどの和雑貨づくり

日時:5月7日(日)、17日(水)、21日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00
参加費:¥2,500 講師:杉山美津江先生



マインドチェンジカラーを知ろう!~色を変えれば人生が変わる~
日時:5月12日(金) 13:00～15:00 参加費:¥1,500(一人あたり15分)
※マインドチェンジカラーのマスククリップもプレゼント! 講師:高橋佐代子先生

カラーカード&抹茶たて体験

日時:5月20日(土) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00 参加費:¥3,000
講師:高橋佐代子先生



手相占い

日時:5月8日(月)、10日(水) 13:00～15:00
5月19日(金) 10:00～14:30
5月20日(土)、21日(日) 10:00～15:00
参加費:¥1,500(一人あたり15分) +¥1,100(延長10分)
占い師:武田萌祐先生

4月

長岡銘竹 × 茶縁 Kyoto
竹製品販売と
竹の茶室茶道体験

4月1日(土)～4月26日(水)

4月は、有名なお寺や庭の竹垣を手がける「長岡銘竹」とのコラボフェアです。長岡銘竹は、伝統工芸の技術を生かし、竹器やカトラリーなど現代の生活に馴染むプロダクトを生み出しています。店内ではその商品に加え、長岡銘竹も参加する、京都・和束の茶農家を応援するプロジェクト「茶縁 Kyoto」の作家による作品も展示販売します。また、ハンケイ 5m ショップで人気の抹茶体験スペースが、期間限定で竹の茶室になります！

四海波かご作り&抹茶たて体験

日時:4月15日(土) 13:00～15:00
参加費:プレーンかご¥5,500、カラーかご¥6,500
講師:真下彰宏先生



6月

着付おとは
和装関連グッズ販売
6月2日(金)～6月30日(金)

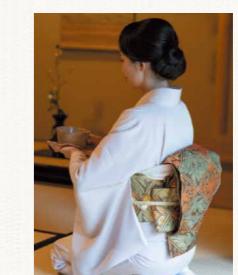
6月は、出張着付けや着付け教室、コーディネート提案などを通じて、着物を着る喜びを届ける「着付おとは」とのコラボフェアです。店内には、帯留やかんざしなど和装関連グッズが並びます。縫わずに簡単にできるおしゃれな帛紗づくりのワークショップや、洋服・着物別のお茶会参加時のマナー講座も行います。

縫わない帛紗作り・懐紙の使い方講座 & 抹茶たて体験

日時:6月7日(水) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00
参加費:¥6,500
講師:帛紗づくり 田端のり子先生 / 懐紙のマナー おとは先生

一日完結茶道マナー講座 & 抹茶たて体験(生和菓子つき)
～また来てほしいと思ってもらえるお客様になるために～

日時:6月24日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00
参加費:¥6,000
講師:茶道マナー 田中賀鶴代先生 / 着物マナー おとは先生



多様な価値観を
発信する実店舗

「ハンケイ5mショップ」

運営管理者
ハンケイ5mショップのあかり

京野朱莉さん

FEATURE 1



「マイノリティに関する問題は、多岐にわたります。
どの問題も、まずは知ることが大事」

京都市中心部の四条烏丸、からすま京都ホテル一階にある「ハンケイ5m ショップ」。店内には、障がい者福祉施設でアーティストと利用者が一緒に制作したアート作品をはじめ、本誌『ハンケイ5m』が掲げる「多様な価値観に触れる」という視点で選んだ幅広いプロダクトが展示販売されている。

2023年1月にオープン一周年を迎えた同店は、これまでに、車いすでも楽しめる抹茶体験やアーティストとのコラボ展など、様々なイベントを開催してきた。原点にあるのは「障がいがある人たちが、社会に出るために接点を作りたい」という思いだ。運営管理者を務めている京野朱莉さんに、これから「ハンケイ5m ショップ」を目指すものと、取り組みにかける思いを聞いた。

年11月から、運営管理者として「ハンケイ5m ショップ」に携わっていらっしゃるそうですね。

はい、「この場所をもっと盛り上げ

ていくために、自分がやりたいことを実現していい」と言われ、まだ入社2年目なのですが、運営管理者を務めることになりました。それまではアドナースの放課後デイサービスで、子どもたちの支援や音楽療法士の補助を担当していました。

私自身、子どもの頃から音楽が大好きだったんです。5歳でピアノを始め以来、音楽が人生の軸になりました。中学と高校では吹奏楽部に入つて打楽器を、大学では軽音サークルでドラムを担当していました。高校生のときに、音楽療法士の存在を知ったんです。病気や障がいを抱えている人に音楽でアプローチして、その人の力を引き出す仕事です。私も、音楽があったから表現できたことがたくさんあり、音楽をやってる自分がすごく好きだった。「素敵なお業があるんだな」と憧れを抱きました。

抱きました。

「ハンケイ5m ショップ」は、本誌『ハンケイ5m』のスペシャル

アドバイザーである株式会社アドナースが運営するアンテナショップです。個性豊かなプロダクトを通して、障がいのあるアーティストの魅力を発信しています。京野さんは昨

大学4年生で就職活動を迎えた時



障がい福祉の現場で働いている私たちだからこそ、伝えられることがある



に新型コロナが大流行し、企業の面接が途絶えた時期がありました。その時に友人に誘われて参加した就活ワークショップを通して、「音楽療法士がいる職場が京都市内にある!」と発見したんです。それがアドナースでした。早速電話で連絡し「音楽療法士のそばで仕事を経験したい」と伝え、アルバイトとして働くことを快諾してもらいました。

音楽療法士の演奏を聞くと、いつも寝ている子が起きたり、不慣れな子もタンバリンを振ってみたり。実際の現場は子どもたちのパワーにあふれています。重度の障がいがあるても、何度も音楽を繰り返すことで変わっていく姿を目の当たりにし、「障がいがある子どもたちの可能性」を改めて感じました。

それまでは、自分が支援を「してあげる」のが仕事だと思っていたのですが、実際は逆でした。打楽器の使い方ひとつでも「そんな鳴らし方できるの!？」と、子どもたちから学びや発見をもらうこともたくさんあります。

——まさに、『ハンケイ5m』が誌面やショップを通して発信している「多様な価値観に触れる」というテーマを体現されているようなエピソード

だと感じます。福祉や支援をめぐる関係性をはじめ、マイノリティに対する考え方が柔軟に変化する。そんなきっかけを、『ハンケイ5m』を通して広げていけると嬉しいですね。

社会的弱者という立場。マイノリティを取り巻く問題について大学で学んだことが、福祉の道を選んだ大きなきっかけとなっているかもしれません。

大学では現代社会学部に在籍し、経済や法律、貧困や民族の問題など幅広い分野に関して学んでいました。その中でフィールドワークとして、北海道の先住民族であるアイヌノリティに関する問題は多岐にわたります。でも、どの問題について

があったんです。差別や偏見を受けた少数民族が、実際は日本の国際交易における重要な役目を果たしていました。

も、まずは当事者の気持ちや、過去にどんなことがあり、現在どんな状況であるのかを知ることが大事だと

——「ハンケイ5mショップ」というリアルな空間で、実際にプロダクトを手に取ってもらうことで、さらにつぶやく思ひがあると思います。『ハンケイ5m』の誌面でも、ひとりひとりの世界が広がっていくような情報を受け続けたいです。

ありがとうございます！ 私自身、アドナースに入社し、障がいがある子どもたちと実際に関わる中で、支援や福祉についての考え方があまり変わりました。だからこそ、社会の中には「障がい者だから働けない」という意識がいまだに根強くあるという前提で、私たちにできることを考えたいと思っています。

障がい福祉の現場で働いている私たちだからこそ、伝えらえることがあります。私は「障がいがあるうとなかろうと、誰もが自分らしく働いて、生きていくことができるんだ」。アート作品やブランドクートを紹介することで、そんなメッセージを「ハンケイ5mショップ」から発信していきたいです。



「自分自身の可能性が広がり、生きる世界が広がっていく。『スポーツは生きる力』です」

障がいの種類や程度、年齢に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができる社会を築きたい。そんな理念の下、中村芳道さんが事務局長を務める一般社団法人・京都障害者スポーツ振興会は、京都府下で半世紀以上にわたって活動している。その歩みは、1971年10月10日の京都府立体育館の開設をきっかけに始まりました。以来、たくさんの人たちがスポーツと出会う機会を提供し続けています。

パラリンピックなどトップレベルを争う競技選手だけでなく、スポーツが未経験、運動が苦手だと感じている人など、幅広い層に開かれたスポーツの場を提供したい——。中村さんは「スキルの高度化」と「スポーツの大衆化」という2つの柱を掲げ、多種多様なスポーツの普及活動に取り組んでいる。

「障がいがある人にとって、『スポーツは生きる力』です。スポーツと出会ったことで人生が変わった。自分自身の可能性が広がり、生きる世界

が広がっていく。私たちは、それを支えたいのです」。

「障がい者スポーツ」始まりの一歩

「1964年の東京五輪まで、障がい者スポーツに関する取り組みは、まだ何もない等しい状態でした。当時のパラリンピックを通して、『障がいのある人も、スポーツをできるのか』と初めて知った人がほとんどだった」と、中村さんは言う。

東京五輪を契機として、全国各地で障がい者スポーツの取り組みが徐々に広がっていく。京都では1971年に、障がい児者の団体や障がい者施設、盲・聾・養護学校など14団体が集まり、「全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会」（京都障害者スポーツ振興会の前身）が発足。同年に開館した京都府立体育館が掲げる「全ての府民を対象とする体育馆」の実現を目指して、「障がいの有無や年齢に関わらないスポーツ」への取り組みが手探りで始まった。

芝田徳造さんとの出会い

芝田徳造さんとの出会い

「京都での普及には、洛北高校の体育教諭を務めていた芝田徳造さんの存在があります」。中村さんにも大きな影響を与えた人物だ。

1970年代当時、連絡協議会にも所属していた芝田さんは、まず、参加団体に声をかけ、障がいがある人や指導者が集まる「心身障害者スポーツの集い」を府立体育館で開催。中村さんが障がい者スポーツに本格的に携わるようになったきっかけは、この集いだった。

「京都で一番大きい府立体育馆」の実現を目指して、「障がいの有無や年齢に関わらないスポーツ」への取り組みが手探りで始まった。



FEATURE 2
中村芳道さん
なかむら よしみち
京都障害者スポーツ振興会
事務局長

障がいがあつても気軽にスポーツを楽しめる場づくりを行う
京都障害者スポーツ振興会





スポーツは本来、誰にとつても楽しいものであるべき

で、子どもから大人まで、参加者も指導者も一緒にスポーツを楽しんでおられた。見学だけのつもりで行つたのですが、気づけば私も一緒にスポーツに参加していました」。以降、中村さんもボランティアとして運営を手伝うようになる。

何もないところから「心身障害者

「トランポリンを使った授業でも、重度の身体障がいがある生徒さんは飛び跳ねるのではなく、トランポリンの上に寝そべっているんです。そして、手や足を少しでも動かせたら、生徒も指導者もみんなで喜び合う。それまで大学で教わっていた競技ス

ポーツの指導とは全く違う世界だと感じました。『ほんのちょっとしたことを共に喜び合う』という素敵な人間関係に惹かれました」。

スポーツの根源にある「体を動かす」という行為の奥深さ。それに触れた中村さんは、支援学校の教員を志すことにつめる。

天理大学体育学部を卒業後、中村さんは講師として京都市内の支援学校に勤務する。そこで、自分がこれまで知っていた体育と、障がいがある子どもたちの体育との違いに触れて「ものすごいカルチャーショックを受けた」という。

「トランポリンを使つた授業でも、重度の身体障がいがある生徒さんは飛び跳ねるのではなく、トランポリンの上に寝そべっているんです。そして、手や足を少しでも動かせたら、生徒も指導者もみんなで喜び合う。それまで大学で教わっていた競技ス

ポーツの指導とは全く違う世界だと感じました。『ほんのちょっととしたことを共に喜び合う』という素敵な人間関係に惹かれました」。

スポーツの根源にある「体を動かす」という行為の奥深さ。それに触れた中村さんは、支援学校の教員を志すことにつめる。

中村さんは、芝田さんが設立した「全国障害児体育研究連絡協議会」にも参加し、障がいがある子どもたちの体育指導について、京都をはじめ、大阪や東京など各地の指導者とともに研鑽を積んだ。

芝田さんから「支援学校での体育の授業は、障がいのある人が若くて体力がある時期に、関わっていることを忘れないように」と、よく言われたという中村さん。

「芝田先生に『学校を卒業してからの方が、人生は長い。体力も気力も落ちていく。君たちはそれをわかっているか!』と言われて、目から鱗でした。支援学校的教員としてだけでなく、生徒たちの一生に関わる中で自分は何をなすべきか。体育やスポーツの授業を通して何ができるか。そのことを、深く考えるようになりました」と振り返る。



中村さんは支援学校を定年退職するまで、約40年にわたって障害者スポーツ振興会にボランティアとして関わってきた。水泳、陸上競技、卓球、車いすバスケットなど、多種多様な障がい者スポーツの普及活動に取り組み、実際に体験した。そして「障がいのあるなしに関わらず、スポーツは本来、誰にとつても楽しいものであるべきだ」という思いは一層強まった。

なかでも、パラスポーツ「ボッチャ」と出会い、中村さんは「誰もがヒーローになれる可能性がある」と感じた。「ボッチャは障がいの有無に関係なく、老若男女がハンデなしで本気でぶつかることができるスポーツ。それが魅力なんです。こんなスポーツ、他にはない」。近年、企業の協力も受けながら普及活動に力を注いでいる。

病気や事故で障がいを負った人にとっても、スポーツの持つ力は大きい。中村さんは、障がいがあつても人生を諦めることなく、スポーツをきっかけに自力で人生の可能性を広げた人たちに、たくさん出会ってきた。がり、その後の人生を変えていく転機になり得る」。中村さんは、そう確信している。

俊朗の映画話

年間100本映画を見る

俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間在籍しフリーに舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴 (キャッチャーホート)

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご:みゅ~じっくばふえCatchy(水曜12時~)。FMまいづる、Radio Mix Kyoto:Premium Kyoto(月曜16時~)。

自分とは一体何者なのか。得意なこと好きなもの、誰と一緒にいると居心地がいいのか、趣味嗜好や存在意義に至るまで、自分のことはいつもでたつてもわからないものです。そしてそれはその時々によって変わつたりするのでさうにタチが悪い。多分大人になるということはその追求を諦めてしまうことなのかもしれません。

主人公はロシアに留学しているフィンランド人で、同性の大学教授の恋人がいます。もうこの時点で彼女はかなりの少数派です。彼女は恋人やあまりの知識人たちと肩を並べようと思死に生きていますが、なかなか馴染めず、しかもその恋人にまで裏切られて一人旅に出ることになります。そこで出会うのが国も品性も考え方も全く違う（と感じている）労働者男性。もはや彼女の孤独感は計り知れません。

しかしこの2人は互いに好意を抱くようになります。それは孤独を埋め

るための一時的なものでしようか？否。彼女は彼との関わりにおいて自身を見つめることになります。自分にとって重要だと思っていたものが全然そうでなかつたり、逆もまた然り。恋人との知性を伴いながらも空虚な会話と、この2人の言葉足らず、しかし心からの会話との対比によって、生きる上で一番大切なことは何かを考えさせられました。そして主人公2人の幸せを願わずにはいられなくなる、そんな映画でした。



コンパートメントNo.6

2021 / フィンランド・ロシア・エストニア・ドイツ / 107分
監督:ユホ・カオスママン
出演:セイディ・ハーラ・ユーリー・ボリゾフ ディナーラ・ドルカーロワ

©2021 - AAMU FILM COMPANY, ACHTUNG PANDA! AMRI ON PRODUCTION, CTB FILM PRODUCTION

今回は、元来マチズモ（男性優位主義）とホモフォビア（同性愛嫌悪）の傾向が色濃く残っていたHISヒップホップの価値観を大きく変化させた2012年発表の2作をご紹介します。

2012年はオバマ大統領がアメリカの大統領としてはじめて同性婚への支持を表明した年。その流れを受けて男性ヒップホップシンガーのフランク・オーシャンがアルバム“Channel Orange”発表に併せて、自身の初恋の相手が男性である事をカミングアウトしました。あえて人称をぼかし、ジェンダーとセクシャリティを揺さぶり、音楽のジャンルをまたぎ、繊細なラヴ・ソングを次々と繰り出していくこの作品は大きな話題となり大ヒット。グラミー賞で主要3部門を含む6部門にノミニートされ、アーバン・コンテンポラリー・アルバム賞とラップ／サング・コラボレーション賞を受賞しています。

そして同年、マックルモア&ライア・ルイスが“Same Love”をリリース。「もし俺がゲイだったら、ヒップホップに嫌われていたらう」というラップで始まるこの曲ではこれまでの業界の体質を真正面から批判し、「どんな愛も等しく尊いものである」というメッセージが高らかに歌われました。彼らもグラミー賞で4部門（最優秀新人賞、ラップ楽曲賞、ラップ・アルバム賞、ラップ・パフォーマンス賞）を受賞しています。

現行ヒップホップの多様性の節となつたこの2作品、是非聴いてみて下さい！



フランク・オーシャン

アルバム『channel ORANGE』
ISLAND



マックルモア&ライアン・ルイス

アルバム『THE HEIST』
ADAGL

Recommended Books

ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が語るおすすめブックス談



山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。

Recommended Entertainment

人形つかいパパの話

最小のキヤバで最高のエンタメを！
人形つかいパパの奮闘記。



人形つかいパパ(佐藤謙)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

スマートフォンを一日中いじつて最新情報にまみれている人にとって、約百年前の異国の話は自分のいる世界とはまったく別世界の出来事に思えるだろう。

当時が今と最も違うのは、デジタルという概念がないこと。しかし、本当はそれしか違わないのではないかと思つたりもする。国際紛争や貧富格差は、今も世界各地で存在するし、衣食住の進歩はあれど当時から脈々と続いているものがやっぱりいる。寂しさや郷愁や嫉妬心などからする。何より人間の行動心理は、世の中がどう便利になろうと何も変わらない。女性の物語だ。舞台は中国。それぞれ日本と台湾の出身だが、複雑な家庭環境と国家の陰謀に巻き込まれ、1940年代の中国で諜報部員とし

て過ごしている。2人は同棲中のカップルなのだが、ある大物の暗殺計画（実際の事件をモチーフ）をめぐって、彼女たちを取り巻く人間関係が大きく変化していく。

その中で描かれる行動心理は、やはり現代の私たちそのものだ。もちろん現代の作家が書いた物語だからといふことはいえるかもしれないが、人間の感情に時代性はない。

もし、あの時代にあの場所に自分がいたら、やはり登場人物たちのように振舞つていたかもしれないと思う。

日本で一番古い現代人形劇団での修業話の前に、私と人形との関わりについて話しておきましょう。

幼い頃から、人形あそびが大好きで、紙に絵を書いて切り抜き、紙人形で相撲をしたり、おもちゃの人形を動かして、アニメの一場面を再現したり。いつしか自分だけのお話を創つていました。母に聞いてみると、いつもブツブツと喋りながら人形を触つていたそうです。誰の目も意識しない、一人だけの壮大な時間でした。

多くの方が経験する人形あそび。

私が少し違ったのは、それが高校生になるまで続いたこと。学校での出来事を、人形で再現したりしていました。奇異な目で見られるだろうと思いつ、友だちは言えませんでした。

他にも、シルバニアファミリーが欲しい、と親に伝えられませんでした。CMが流れてくるたびに心がときめき、あの「大きなお家」は憧れでした。高価そうだし、女の子のものだと思って、ねだれませんでした。

今回紹介する小説『楊花の歌』は、1914年から1942年にわたって、数奇な運命に翻弄された2人の女性の物語だ。舞台は中国。それぞれ日本と台湾の出身だが、複雑な家庭環境と国家の陰謀に巻き込まれ、1940年代の中国で諜報部員とし

て過ごしている。2人は同棲中のカップルなのだが、ある大物の暗殺計画（実際の事件をモチーフ）をめぐって、彼女たちを取り巻く人間関係が大きく変化していく。

その中で描かれる行動心理は、やはり現代の私たちそのものだ。もちろん現代の作家が書いた物語だからといふことはいえるかもしれないが、人間の感情に時代性はない。

もし、あの時代にあの場所に自分がいたら、やはり登場人物たちのように振舞つていたかもしれないと思う。

日本で一番古い現代人形劇団での修業話の前に、私と人形との関わりについて話しておきましょう。

幼い頃から、人形あそびが大好きで、紙に絵を書いて切り抜き、紙人形で相撲をしたり、おもちゃの人形を動かして、アニメの一場面を再現したり。いつしか自分だけのお話を創つていました。母に聞いてみると、いつもブツブツと喋りながら人形を触つていたそうです。誰の目も意識しない、一人だけの壮大な時間でした。

多くの方が経験する人形あそび。

私が少し違ったのは、それが高校生になるまで続いたこと。学校での出来事を、人形で再現したりしていました。奇異な目で見られるだろうと思いつ、友だちは言えませんでした。

他にも、シルバニアファミリーが

欲しい、と親に伝えられませんでした。CMが流れてくるたびに心がときめき、あの「大きなお家」は憧れでした。高価そうだし、女の子のものだと思って、ねだれませんでした。

今回紹介する小説『楊花の歌』は、1914年から1942年にわたって、数奇な運命に翻弄された2人の女性の物語だ。舞台は中国。それぞれ日本と台湾の出身だが、複雑な家庭環境と国家の陰謀に巻き込まれ、1940年代の中国で諜報部員とし



楊花の歌
青波 杏著
(集英社)
1,760円(税込)

Recommended Books

ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が語るおすすめブックス談

山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。

Recommended Entertainment

人形つかいパパの話

最小のキヤバで最高のエンタメを！
人形つかいパパの奮闘記。

人形つかいパパ(佐藤謙)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

ハンケイ 5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.7
発行にあたり

春は、ハンケイ5mに素敵な人が
増える季節です。楽しめます。
鎌田智広(スペシャルアドバイザー)

福祉を専門的に学ばなくても
身の回りの5mを見渡せば
多くのマイナリティに出会い
なすべき課題が見えてくる。
改めて教えてもらった。
円城新子(編集)

自分の中の「見えない壁」に
目を向けた時から、
可能性は広がっていく。
龍太郎(ライター)

今号の表紙も、
思わず手に取りたくなるかっこよさです。
偶然手にした誰かに、
何か新しい気付きがありますように。
山田梨世(編集)

昨今、AIの目覚ましい発展には驚くばかりです。
私たちが豊かに、人間らしく生きるために、
何が大切なのか?
この『ハンケイ5m』は、示唆を与えてくれます。
呉玲奈(編集)

人々の周りハンケイ5mの
いろんな重なりがようやく戻り、
楽しい春です。
森 華(デザイン)

京野さんの
「まずは知ること」との言葉。
心にとどめて、
周りを見つめなおそうと思います。
北原靖浩(デザイン)

可能性は誰しも無限大。
挑戦しない選択肢はない!
辻正美(カメラ)

いい音楽を聞くと、
自然とリズムを取り出し動き出しだくなる。
意欲を掻き立てる音楽の力はすごい!
中山みゆき(編集)

なんとなく参加したボッチャ大会、
あまりに楽しかったので
次回が待ち遠しいです!!
鈴木穂乃(編集)

ハンケイ 5m vol.7

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2023年4月5日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社union.a
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子
山田梨世
呉玲奈
中山みゆき
鈴木穂乃
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ
スペシャルアドバイザー 鎌田智広

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



5/5(金)公開
**それでも
私は生きていく**

R15+ | Un Beau Matin |
2022 | 仏 | 112分
監督: ミア・ハンセン＝ラブ
出演: レア・セドウ
<https://unpfilm.com/soredemo/>

京都みなみ会館おすすめ映画



4/7(金)公開
**ベイビーわるきゅーれ
2ベイビー**

2023 | 日 | 101分 |
監督: 阪元裕吾
出演: 高石あかり、伊澤彩織、
中井友里、飛永翼
© 2023「ベイビーわるきゅーれ2」製作委員会

『未来よ ここにちは』(16)で、第66回ベルリン国際映画祭銀熊(監督)賞を獲得し、フランス映画界を代表する存在となったミア・ハンセン＝ラブ監督の最新作は、自身の父親が病を患っていたなかで脚本を書いた自伝的作品。父の病に対する「悲しみ」と、新しい恋の始まりに対する「喜び」という正反対の状況に直面するシングルマザーの心の揺れを、レア・セドウが繊細に演じている。

上映情報のご確認はこちら
京都シネマ www.kyotocinema.jp
京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON 烏丸3F ☎ 075-353-4723

漫画から飛び出たような個性豊かなキャラクターたちが奏でるオーフィートな笑いと本格アクションが国内外の映画祭で絶賛された、殺し屋女子2人組のアクション映画がさらにパワーアップして帰ってくる! 殺しの腕はピカイチだがジムの会費、教習所代などの出費に頭を悩ませるちさと・まひろ。同じくお金の悩みを抱える殺し屋協会アルバイトのゆうり・まこと兄弟は、正規グループである二人のポストを奪う為、彼女たちに狙いを定める。

上映情報のご確認はこちら
京都みなみ会館 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>
京都市南区西九条川原城町110 ☎ 075-661-3993

フリーマガジン 自分たちの足で見つけた、オリジナルな情報。本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン。

ハンケイ500m

昔から京都の本物を支えてきたのは、伝統的な職人の技。そんな京都の土壤における「職人」というキーワードに着目し、独自の哲学・こだわりを持った現代の「職人」を、ひとつのバス停から半径500mに限定して、じっくり探索。そこで再発見した「京都らしさ」を、皆様にお届けします!

京都市地下鉄全駅、京都市内各所にて絶賛配布中!

バックナンバーは www.hankei500.com

毎奇数月 10日発刊



ハンケイ500m公式Twitter
[@hankei500](https://twitter.com/hankei500)

ラジオ 『ハンケイ500m』のこぼれ話が聴けるラジオ。

ハンケイ500m × KBS京都Radio

サウンド版 ハンケイ500m

『ハンケイ500m』がラジオ番組になって、オンエア中! パーソナリティはサウンドロゴクリエイターの原田博行さんと、円城新子編集長。耳で聞く「あるバス停から『ハンケイ500m』の物語」は、雑誌とはまた別のおもしろさがあります。ポッドキャストでも聞けますよ!

KBS京都Radio
FM 94.9
AM 1143

聴き方
➡➡ PodcastでMP3をダウンロード
➡➡ radikoまたはラジオで聞く
KBS京都ラジオ 毎週土曜17:00~18:00



HANKEI 5M OFFICIAL SUPPORTER

私たちがハンケイ5mを応援しています!

KPC

京都ではたらく人々に
ライブな福利厚生を提案しています。
(公財)京都中小企業振興センター
www.kpc.or.jp

ハンケイ5m 設置・サポーター募集について

『ハンケイ5m』をもっと
多くの方に手に取って
いただけるよう、新規設置場所を随時募集しています。
また、『ハンケイ5m』の価値観に賛同してくださるサポーター企業様・団体様を募集しています。(一口5万円~)お問い合わせは、info@hankei500.comまで。



WEB 京都に根差した情報誌×新聞社による新しいWEBメディア。

ハンケイ500m × 京都新聞

ハンケイ京都新聞





ADNURSE